

# 議会だより



第129号

平成24年4月25日



いっしょにがんばろうね  
(志賀小学校入学式)

前年度比9.6%減

24年度一般会計 2P

急がれる減災対策

予算審議 4P

風力発電推進姿勢を堅持できるか

一般質問 6P

県道改良早期完成に期待

委員会レポート 9P



# ”すすめよう”

# さらに減災対策を

## 平成24年度

一般会計	33億1,697万円
特別会計	21億1,361万円
予算総額	54億3,058万円

### 水道事業会計

収益的収入	2億	444万円
収益的支出	2億	444万円
資本的収入		2万円
資本的支出	1億1,751万円	

3月定例会は3月9日から13日間の会期で開催した。町長の施政方針を受けて提案された平成24年度一般会計、特別会計、水道事業会計など議案10件、同意1件、また平成23年度一般会計・特別会計補正予算など議案4件について、それぞれ慎重審議の結果、原案のとおり可決し21日に閉会した。

### 一般会計予算

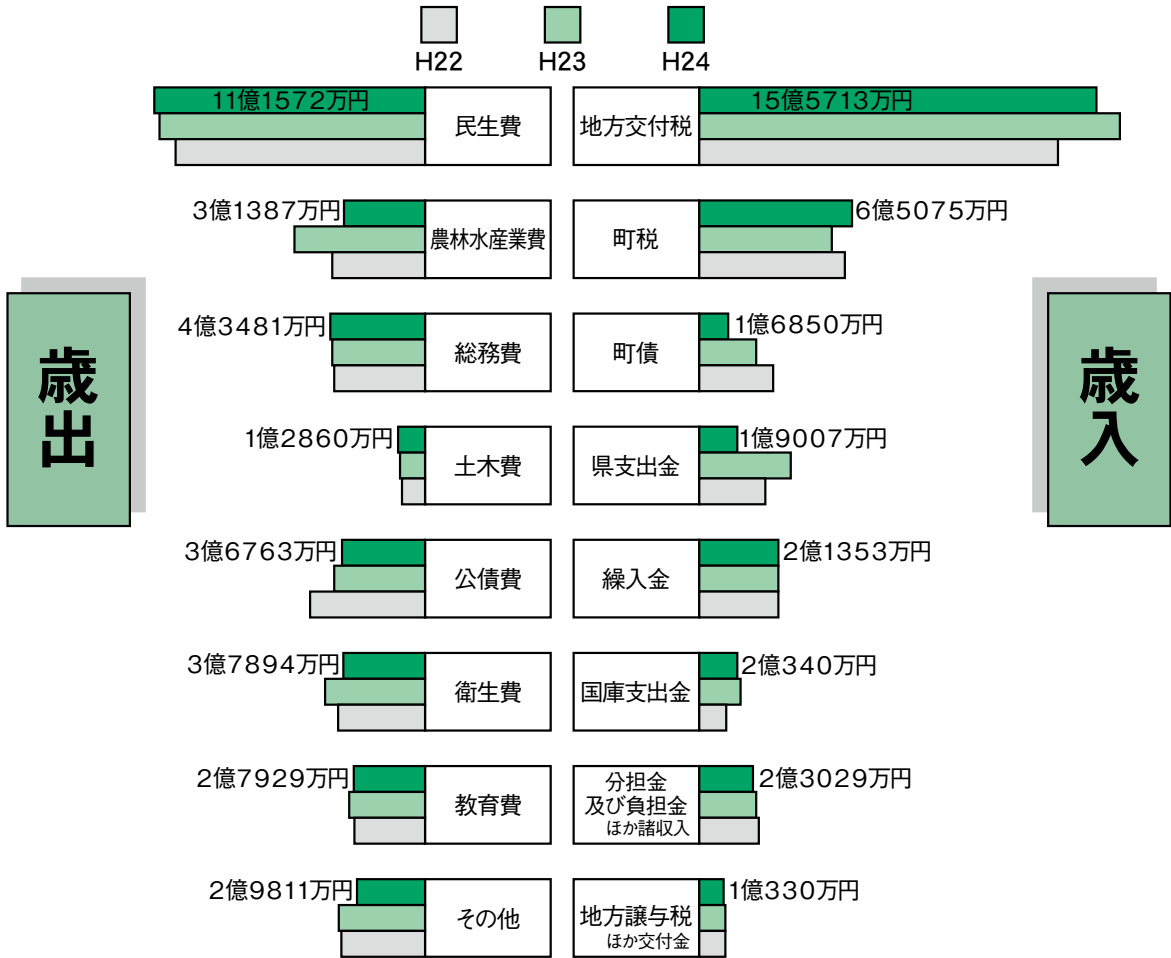
#### 歳入予算は

地方交付税は増額となるが臨時財政対策債は減額となり、本町への影響は約3千万円の減額と試算している。引き続き堅実な財政運営を堅持する必要がある。

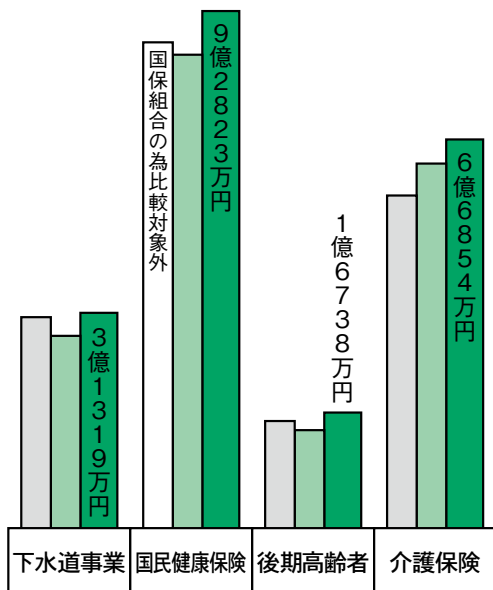
#### 歳出予算は

防災対策(衛星電話の配備等)、買い物弱者対策(高齢者外出支援事業等)、有害鳥獣対策(追い払い用の電動ガン等)などの施策を講じているが前年度比4.3%減である。

# 一般会計予算の主な内容



# 特別会計予算の主な内容



# 一般会計

**問** ライフジャケット配備促進事業の説明と何処からの要望か。

**教育次長** 津波を想定する中で避難時に使用する考えである。

県から話があり、比井小学校75名分を配備する。

**問** コンビニ収納のためのシステム改修についての詳細説明を。

**税務課長** 軽自動車税、個人住民税、固定資産税、国民健康保険税、上下水道使用料の、料金収納シ

ステムの改修である。

住民サービスの向上のために必要と判断した。

手数は基本料金3千円で1件当たり60円である。

供用開始は平成25年度予定である。

**問** 今年度の高齢者外出支援事業の利用者見込み数は。

**住民福祉課長** 約6割の1235名の利用がある見込みである。

**問** 農作物鳥獣防止対策費補助金の減額理由と備品購入についての説明を。

**産業建設課長** 今年度は

緊急雇用による追い払い、また緩衝帯の部分がなくなつたため減額した。

備品については電動ガン10丁とアニマルコントロールを3台購入する。

**問** 電動ガン購入に至つた経緯は。

**産業建設課長** 猟友会による、追い払いは一定の効果はあつたと思われるが、今年度予算算が確保できなかったことで別の対策として購入することになった。

**問** 農地・水保全管理支払基金補助金の説明を。

**産業建設課長** 平成23年度からの事業で中山間地域も含め各地区の用水路のコンクリートが傷んできている。

改良してほしいとの要望を踏まえ補助している。

**問** 顕彰碑設置工事の50万円についての説明を。

**産業建設課長** 原谷にある自然散策公園と周辺の土地を寄付して頂いたことによる記念碑の建立費用である。



貸し出し用電動ガン

置するのは田杭・小杭・方杭の3か所で、昨年の東日本大震災の発生時に通信が困難な地区があったために予算計上した。

**問** 小学校にエアコンを設置する方向で検討するに至つた経緯は。

そして調査費の内訳の説明を。

**教育次長** 猛暑の時に、鼻血を出したり、色々と生徒が体調不良を訴える中で、町長と前向きに空調設置に向けての取り組みをしてきた。

3小学校で124万円、耐力度調査で579万円である。

**問** 耐力度調査についての説明を。

**教育次長** 耐震診断よりも制度を高くした調査になる。構造耐力保存度、外力

条件などすべてにわたる調査である。

**問** 書道展開催補助金として200万円が計上されているが詳細説明を。

**教育次長** 文化賞を受賞されている弓場先生の作品を町民の皆様知って頂く良い機会であり、今回展示して頂ける話があったことから教育委員会として協賛する。

時期については夏休みの期間中3日間程度を予定している。

費用の大半は額縁購入などである。

## 賛成討論

防災対策・鳥獣害対策など各分野に渡り、きめ細やかに予算措置が行われている。

第5次日高町長期総合計画に沿って、子供からお年寄りまで安心して暮らせる街づくりになお一層の努力することを要望し賛成討論とする。

山本善啓議員



比井小に配備予定のライフジャケット

### 規約変更

病院経営事務組合  
規約の一部を変更

日高看護専門学校設置

看護師養成所の設置  
についての詳細説明を。

町長 3年課程の全日制  
で1学年40名、開校予定  
時期は平成26年4月であ  
る。

県内には7校設置され  
ている。  
運営の継続性について  
は心配はない。

### 水道事業会計

給水タンクの購入に  
ついて、内容と使用説明  
を。

上下水道課長 災害時の  
給水活動に使用する。

車載用で1立方メートル  
入りのタンクであり、  
アルミ製が2器、ポリエ  
チレン製が10器である。  
飲料用として使用し、  
災害時には現地に行き給  
水をするが、場合によっ  
てはピストンする状況も  
考えている。

### 条例改正

日高町税条例の  
一部を改正

平成26年度～35年度ま  
での個人住民税均等割  
500円の加算と、県か  
ら町へのたばこ税の委譲  
など。

町民税の均等割のと  
ころで500円増税と計  
上されているが、県民税  
についてはどうか。

この目的を政府はどん  
く説明されているのか。  
税務課長 県民税につい  
ても同じく500円増税  
されている。

目的については地方公  
共団体が実施する防災の  
為の施策に必要な財源確  
保と説明である。

### 反対討論

住民税だけではなく所  
得税も引き上げとなって  
いる。

被災者や低所得者に増  
税となるような引き上げ  
はすべきでない。

西岡佳奈子議員

### 国民健康保険 特別会計

町長 今年度の1日ドック、  
2日ドックの募集人数と  
自己負担額の説明を。

健康推進課長 1日ドック  
で53人分、自己負担額  
は1万5千円、2日ドック  
で36人分、自己負担額  
は2万5千円である。



災害時に準備する  
給水タンク

### 23年度一般会計補正予算

既定の予算総額から4708万2千円を減額し38億  
4762万9千円とする。

### 主な内容

国保日高総合病院負担金2284万1千円、職員退  
職手当特別負担金1170万2千円等、増額があるが、  
漁港施設整備事業費で4937万、橋梁長寿化設計委  
託料で400万円等の減額があったため。

### 24年度へ繰り越した事業

- 消防備品購入事業 120万5千円
- ライフジャケット納期が24年度になるため
- 農業用施設災害復旧事業 758万円
- 後垣内池改修事業 24年12月完成予定



# 未来をきずく

# Q & A いっぽん質問

## 町内の風力発電に反対

栄 茂美 議員

町長 推進の思いは強い



### この事業の進め方

**問** 町民に対し、町長は公約である風力発電事業推進の十分な説明責任を果たされていない。

**町長** 町民の皆様に必要な説明責任を果たすのは、事業主の責務である。

**問** 町長は、まずは地元

住民と話し合い、その住民の声を聞くべきである。

**町長** 関係区から要請があれば、出席して説明していきたい。

### この事業のメリットとデメリット

**問** 特に今問題となつて

いるのが低周波音による健康被害であり、住民に精神的苦痛を与える健康被害も出てくると思う。

**町長** 政府は「一般に健康への影響と風力発電施設の稼働との間の関係については、現時点ではあきらかになっていないので、風力発電施設の設置

は、地元の理解を得た上で実施されるべきものである」との答弁で、私としても、地元関係者の合意のもと、風力発電事業を推進したい。



田杭に1基ある1990kwの風車

**問** 風力発電事業は住

民の今までの穏やかな暮らしを脅かすリスクがあり、不安を感じる住民をどう守るのか、それこそが町長の責任である。

**町長** 開発には、県の許可を取らねばならない。県としては、業者に対して環境面についても調査・研究して指導をしてくれるので、私は、それを信頼している。

### この事業の将来性

**問** 簡単に持ち運び可能で維持管理なし、燃料なしで電力が得られる太陽光発電が注目されているが、災害時にも自家発電として機能する太陽光発電の町内の利用状況を知りたい。

**町長** 太陽光発電は、庁舎と3保育所に設置しており、3保育所での発電

量は、年間約4万kwで、関西電力への売電は、年間約40万円程度である。

**問** 風車のように建設構造物大きい物は、後の維持管理やメンテナンスが大変であり、最後まで責任を持って運用ができるものなのか不安を感じるし、もっと効率の良い発電事業ができた時に、動かなくなった風車が町のお荷物とならないか。

**町長** 私は、そういう心配はないと信頼している。

**問** 日高町の風力発電事業は、町民に支持されているとは思えないし、住民に不安を与えても、希望を与えるものではないと私は判断する。

日高町の美しい自然の山並みに風車を林立させる町作り、風力発電事業には、私は反対である。

他の質問

- ・介護保険料の大幅値上げについて
- ・防災対策の強化を
- ・通学路の点検について

金崎 昭仁議員

# 学童保育の問題点を聞く

## 教育次長 文書にて回答を



今後も期待される日高町学童クラブ

**問** 学童保育について教育委員会としてどのように考えているのか。  
**教育次長** 第1次的には、子供たちの安心・安全な場所を確保すると言つことである。

開所以来運営に支障を

きたしたこともないので、今後も現在の運営方法で取り組む。

**問** いつ起こるか分からない中で、防災・減災に對しての意識が教育委員会・委託業者も低いので

はないかと思うが。  
**教育次長** 昨年3月11日の大震災発生後、学童の場所は役場敷地内と言うことで対応していなかった。

**問** 土曜日に地震等が発生した場合。

**教育次長** 委託業者との契約の中で、安全・安心な預かる場所ということと委託業者が責任を持つた対応をすることとなっている。

**問** 契約を交わしているにもかかわらず現場を見に来ない。

より充実した学童保育を実施するための研修には前向きではない等意識が低いように思える。  
**教育次長** 委託先と連携を取りながら協議して、今後の取り組みを進める。

**問** 契約の中で児童の送迎についてはどうなっているのか。

志賀小学校に送迎を行っているのも関わらず契約に書かれていないと聞か確認したい。

**教育次長** 契約の中では内原小と比井小の内容になつていて、志賀小学校への送迎が書かれていない。

本年度分は終わりに近いが直ちに契約内容を内原から志賀に改正する。

**問** 児童の名簿をもっと早く指導員に渡すことは出来ないのか。

**教育次長** 新年度に入らないと児童の把握は難しい状況だ。

**問** 入札時期に問題があるのではないか。

また新年度に向け入札業者は何社あるのか。  
**教育次長** 本来3月上旬にするのが理想である。今後は少しでも早く見積り競争的な考えで検討したい。

現時点で、入札参加業者は2社の予定である。

**問** 色々と問題はあつてはと思うが、直接関わつてもらう指導員の方々と交えて教育委員会・委託業者の3者で定期的な話し合いを持つことが学童保

育の充実・向上につながると思える。

これまでの問題点とされていることを伝えて、委託業者から文書等で回答をもらうようにすべきと思うが。

**教育次長** 委託業者を呼んで再度話し合いをした上で文書等で回答してもらうように取り組む。

ふるさと教育に  
力を入れよう

**問** 子供たちがふるさとを大切に思うことが出来るような教育を積極的に時間を作り取り組むべきと考えるが。

**教育次長** 日高町らしい教育という中で「知・徳・体」の3つを大事にした取り組みを進める。

西岡 佳奈子 議員

# 風力発電推進の撤回を 町長 推進姿勢を堅持



**問** 平成14年に瀬山を含む山林を購入したとき、自然環境保護を目的といわれた。

長計でも自然環境保護ゾーンとなっている。

風力発電による大規模な開発と矛盾しないか。

**町長** 自然破壊につながるような計画ではない。

**問** 日高町議会が視察に行ったことのある南あわじ市の風力発電施設で、昨年9月の台風15号時に大規模な土砂崩れがおき、海に流れ込み、ワカメの養殖などに大きな被害を与えている。

そういう心配があると、いつことを考えていたか。

シャネックスによる大平山から原谷にかけての風力発電計画の環境アセスメントについて、「いつ」「どこで」「どんな」調査がおこなわれたのが、まいったくわからない。

この事業者の進め方を町長はどう考えるか。

**町長** シャネックスは、九州で風力発電による売電をされているということや、三重県でも取り組んでいるということを知っている。

立派に経営されていると認識している。

**問** 今年10月に法律が変わり、風力発電設置には環境アセスメントの実施が必要となる。

それまでに、実態がわからないようなアセスをもって事業に着手されてしまつては住民にとって不幸である。

非常に問題があると思うが、町長の認識は。

**町長** 問題がないと考える。

**問** 由良町で健康被害を訴えられている方は、低

周波による被害を訴えられている。

町長は被害を訴えている人の家へ行かれたというが、

風車も遠く、音も聞こえないから大丈夫というような判断をされるのは非常に危険。

騒音の被害と低周波の被害の両方があるということを認識いただきたい。

**町長** 現在、健康被害と風力発電の因果関係は明らかになっていない。

この件については勉強する。

**問** ユーラスエナジーによる長峰山の風力発電でも、下津町で健康被害が訴えられている。

風車から北に850mの家に住んでいた方が、具合が悪くなり転居を余儀なくされた。

町長は何かあれば先頭に立って対処すると言わ

れたが、全国的な状況、由良町の状況などを見ると、行政としての対応が難しいということが良くわかる。

推進姿勢の撤回を。

**町長** 再生可能エネルギーの必要性が今後益々高くなることから、推進姿勢を堅持したい。

—その他の質問—

・消費税増税に反対の声を

・国保一部負担金の減免制度について

・

・

・



朝日新聞 (平成24年3月1日)



紀州新聞 (平成24年2月28日)

風力発電稼働後の説明会の様子(由良町)を伝える新聞



風力発電施設 (由良町内)



# 委員会レポート

## 産業教育常任委員会

### 県道改修に積極的な取り組みを



完成が待たれる比井の県道

委員会は、1月31日、  
県道柏御坊線、県道比井  
紀伊内原停車場線橋梁工

事現場、県道御坊由良線  
など現地視察したのち、  
県道改良についての予定  
箇所、要望箇所などに  
ついて説明を受けた。

県道柏御坊線について  
は、中志賀のクエモノニ  
メントから上志賀の町道  
志賀池田線まで1.9kmの区  
間を1期区間として要望  
しており、今年度調査予  
定であったが、台風12号  
災害の関係で  
遅れていると  
のことである。

県からは歩  
道付きの1.5車  
線に拡幅する  
という案が示  
されている。  
また、上志  
賀から柏の区  
間についても  
2期工事区間  
として要望予  
定である。  
県道比井紀  
伊内原停車場

線の、比井地内橋梁工事  
を含む拡幅改良は今年度  
完成予定となっている。  
(尚、工事の遅れにより、  
工期が8月20日まで延長  
されている。)

県道御坊由良線は、産  
湯地内700m、田杭地  
内100mの拡幅改良に  
ついては24年度終了予定  
となっている。

また、阿尾〜田杭間、  
比井〜産湯間についても  
引き続き要望をおこなっ  
ている。

県道井関御坊線は、現  
在の拡幅されている地点  
から国道に向けて改良予  
定となっている。今年度  
から28年度で520mを  
拡幅改良する予定で、現  
在、用地の測量などが進  
められている。

いずれの区間も、住民  
の利便性、安全性を図る  
上からも早期の拡幅改良  
が必要であり、県に対し  
て予算確保を求めるとも  
に、町としても住民の  
理解と協力を得られるよ  
う努力するなど、早期完  
成にむけての積極的な取  
組みを望みたい。

## 日高町介護保険条例の 一部を改正

平成24年度から平成26年度までの  
第5期介護保険事業計画による推定  
介護保険給付額の算定にともない、  
給付に必要な保険料を徴収するため、  
保険料の改正をおこなう。

### 主な質疑

問 保険料が150・6%という大幅  
な値上げとなっているが、これに至っ  
た背景は。

健康推進課長 大幅な給付の増加が見  
込まれることが原因である。

中でも、高齢者専用賃貸住宅ができ  
ることの影響を懸念した。

問 住民への周知方法は。

健康推進課長 被保険者あてに通知書  
発行の際に、説明のパンフレットをい  
れる。  
また、5月号の広報に掲載する。

問 年金から天引きの場合、保険料の  
金額の調整方法は。

健康推進課長 4月支給分の年金から  
の天引きは、2月の金額と同じと決ま  
っているが、6月の年金支給分から、  
値上げされた保険料と昨年度の保険料  
との間で調整をしたい。

所得段階	第4期 (基準月額 3,600円)		➡	第5期 (基準月額 5,420円)	
	月額	年額		月額	年額
第1段階	1,800	21,600		2,710	32,520
第2段階	1,800	21,600		2,710	32,520
第3段階	2,700	32,400		4,065	48,780
特例第4段階	2,988	35,850		4,499	53,980
第4段階	3,600	43,200		5,420	65,040
第5段階	4,500	54,000		6,775	81,300

# 委員会レポート

## 総務福祉常任委員会

### 風力発電の現状は



時間雨量150mmで設計された排水溝（由良風力）

委員会は2月20日に由良町三尾川地区で由良風力発電所の視察をおこなった。

現地での説明は施工会社の三井造船の担当者から説明を受けた。

説明内容は、定格出力2000kwの風車5基

を建設、平成22年4月から平成23年8月末までの工事期間で完成し、同年9月から営業運転を行っている。

風車は国産（日立製作所製）で山間部に適した機能を要しているとのこととで、ヨーロッパ製は平野部に対応した設計である。

風力の利用率は25%を上回れば、十分電力需給に対応できるようであるが、9月からの半年間は風の状態も良く、30%以上の利用率である。

造成工事に際しては、時間雨量150mmで設計しており昨年の台風12号の豪雨のときは80mmであったが災害もなかったことであった。

風車と民家までの距離については環境省の指導では、500mとなっているが地元の三尾川区までは700m、また、畑地区までは1200mとなっている。

以上視察内容についての報告であります。

当町の現状については、

ユーラスエナジーホールディングスが小浦地区の瀬山に2000〜2300kw級の風車7基の計画を進めている。

また、日高池田ウインドシステム（株）が池田地区他に9基の計画を進めている。

しかし、電力の買い取り価格が決定していないため今後の進捗状況がつかみづらいようであり、詳細にわたっての報告が町に対して行われていないのが現状である。

これまで、執行部より風力発電事業に対し説明を受け調査研究をしてきたが今後は民・民の間での協議をするとの考え方に変更する旨の報告を受けた。

しかし、今後報告や情報が入り次第、議会に対して速やかに報告を行うよう要望した。



建設残土で造成された公園用地（由良風力）

### 編集後記

東日本大震災から1年が過ぎました。昨年の3月11日は、平成23年度第1回定例会の開会日でした。

夕方、控え室でテレビ報道を見ながら、いったい何が起きているのかと、信じられない思いで画面を見つめたことを思い出します。復興に向けての歩みは遅く、特に原発事故への対応は不信感がつのるばかりです。

一日も早く安心して暮らせる日常を取り戻すためにも、政治の責任の大きさを感じています。

西岡 佳奈子

